

平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日)

注：(継○)は、公益目的支出計画に基づいて実施した事業区分

1. 平成25年度航空宇宙産業フォーラム推進会議 (6月24日)の開催

(定款：第4条第1項第6号)(継3)

名古屋栄ビルディング(12階大会議室)にて、三田 敏雄中部航空宇宙産業技術センター会長を座長としたフォーラム推進会議の開催を事務局として支援。主催者である中部経済産業局より、山本局長の挨拶及び24年度の総括と今後の取り組みについて説明あり。その後、推進会議メンバーによる意見交換を行った。

2. 航空機部品供給システム研究会の定例講演会の開催 (愛知県と共催、2回開催)

(定款：第4条第1項第5号)(継5)

第14回 定例講演会 テーマ：航空宇宙海外展開支援セミナー

(9月27日(金)、名古屋銀行協会)

愛知県

「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区の取組について」

(株)JALエンジニアリング

「航空機整備とMRO産業」

(株)海外物産 システム営業部長 宮 修一 氏

「アジアのMRO拠点シンガポール及びシンガポール・エアショーの特徴」

第15回 定例講演会 テーマ：航空機エンジンの最新動向と研究開発

(3月20日(木) あいち産業科学技術総合センター)

(株)IHI 航空宇宙事業本部 技術開発センター

エンジン技術部設計技術グループ 部長

黒木 博史 氏

「航空機エンジンの最新動向について」

(独)宇宙航空研究開発機構 航空本部 推進システム研究グループ長 西澤 敏雄 氏

「航空機エンジンの研究開発について」

3. 地域企業立地促進等事業費補助金

(定款：第4条第1項第4号)

(事業名：中部地域航空宇宙産業活性化人材養成等事業)

(経産省、1,444万円)

(1) 航空機開発関連試験評価人材養成講座

(継4)

航空機開発関連試験評価人材養成講座実施

航空機開発における試験評価業務のうち、飛行試験を中心とした座学・実習により飛行試験

評価能力を有する技術者の育成、創出を目的として実施。

定員 30 名で募集したところ 15 社 81 名の応募があった。

11 月 2 日（開講） 関連試験全体概要及び強度試験概要（各種関連試験について）（座学）

11 月 9 日から 11 月 30 日の毎週土曜日に開催、

飛行試験実施要領、飛行特性（各論、試験方法等）の座学

12 月 7 日 飛行試験実習（双発ジェット機で 2 フライト）

飛行データ取得（ブリーフィング、飛行試験立会、デブリーフィング）

2 月 8 日・15 日（閉講） 飛行試験取得データの解析・評価実習

4. 地域新成長産業創出促進事業費補助金

（定款：第 4 条第 1 項第 1・2・5・6 号）

（事業名；次世代航空宇宙関連産業国際競争力強化支援事業）（経産省、1, 975 万円）

（1）地域新産業集積体制整備事業

1）専門家の配置（6 名）

（継 1・2）

2）中部地域の航空宇宙産業の高度化検討事業

①航空機産業支援機能高度化検討委員会

この地域の支援機能を強化・高度化し、中部地域が世界に伍する航空宇宙産業クラスターとして発展していくために、地域内外の産学官有識者による委員会を設立して、支援機能として求められる機能（人材育成、サプライチェーンの高度化、研究開発・先端研究機能、クラスターとしての基盤機能・役割等）について検討を行った。この中でも、喫緊の課題となっている生産技能職の人材育成のあり方について重点的に検討を行った。

東大 鈴木先生を委員長に 3 回開催（11 月 19 日、12 月 18 日、2 月 25 日）。

②航空宇宙複合材料研究会

（継 1・2）

先進複合材の利用拡大及び地域産学官の研究開発拠点（名大 NCC、ぎふ技術革新センター、いしかわ炭素繊維クラスター等）の活用促進に向けて、地域内外の複合材関連分野における先進的な取組に従事する産学官関係者による研究会を立ち上げ、内外の各分野の専門家を招聘して、先進的な情報の共有化を図ると共に、将来の航空宇宙分野に必要な技術、研究開発テーマについて検討を行った。

東大青木先生を委員長に 3 回開催（10 月 1 日、11 月 12 日、2 月 20 日）。

③技術動向調査

（継 1）

航空宇宙関連海外メーカーとのグローバルな競争を行っていくための競争力強化に向けた技術戦略の構築支援のため、欧米等の技術動向調査を実施した。

昨今、欧米では、次世代機に適用すべき技術として、地球規模の社会的要請の高まりから環境適合性の飛躍的向上を実現する技術と共に、石油などの化石燃料の新興国における需要の増大等による価格の高騰に伴う運航経済性の観点から航空機の消費する石油燃料を少なくする技術（含：代替燃料、太陽エネルギーの活用等）の重要性が益々高まってきている。このような状況を踏まえて、環境適合性、エネルギー問題に関わる技術について、運航経済性の観点も含めて最近の技術動向を調査した。調査は外部委託調査方式とし、委託先はHPで公募し、

中菱エンジニアリングを選定した。

- 3) 海外航空宇宙クラスター等との連携構築事業 (継1)
海外クラスター等との連携構築及び航空宇宙関連先進技術の収集等の目的で、パリ・エアショー2013にコーディネータ2名を派遣した。

4) 新需要・新サービス創出促進事業

- ①ヘリコプター活用検討WG (継1・2)

24年度の検討により得られた航空機版ITSの構想(衛星データ通信、GPS/データリンク、情報共有ネットワーク)をより具体的なものとし、航空機版ITS構築に向けての課題と対応策(JAXAのD-Net/D-NetⅡと連携可能な簡易・安価な装置等)の検討を行った。
川崎重工 榊社友を委員長に2回開催(11月2日、1月16日)。

- ②装備品国産化推進WG (継1・2)

24年度の次世代航空機技術開発検討会議で抽出した技術課題(モア・エレクトリック・システムを目指した脚システム、操縦システム、油圧システム、ソフト認証等)について、新しく3社をメンバーに迎えて、装備品国産化推進WGを形成して日本発の先端技術を目指して、個々及びグループ化による具体的な研究開発テーマの掘り起こしを行った。WG全体会議の開催(10月29日)。
その他、MRJ油圧・操縦リグ試験装置(アイアンバード)見学&ソフト認証関連セミナー開催(12月26日)、航空機用新材料関連セミナー開催(1月24日)。

- ③航空機産業マッチングセミナー(財)岐阜県研究開発財団と共催 (継3)

日時:平成25年10月23日(水)13:30~17:00
場所:岐阜大学サテライト・キャンパス 多目的講義室(岐阜駅前)
参加者:47名

【内容】

- 講演1 「新製品開発へJISQ9100手法の活用事例紹介
~高級自転車ハブの商品化支援~」
株式会社ティ・エフ・マネジメント 代表取締役 門間 清秀 氏
- 講演2 「多摩川精機(株)における民間航空機事業の現状」
多摩川精機株式会社 常務取締役 熊谷 秀夫 氏
- 講演3 「パリ・エアショー2013の概要」
(一社)中部航空宇宙産業技術センター コーディネータ 田島 暎久 氏

- ④先端複合材セミナー(ほくりく先端複合材研究会と共催) (継3)

日時:平成25年11月22日(金)14:00~17:20
場所:金沢都ホテル 7F 飛翔の間(金沢此の花町6-10)

参加者：84名

【内容】

講演1 「愛媛大学における CFRP 加工法に関する研究事例と産官学の取り組み」

愛媛大学大学院理工学研究科 生産環境工学専攻

機械工学講座 教授

黄木 景二 氏

講演2 「民間航空機向け炭素繊維複合材料の技術開発 ～現状と将来動向～」

東レ(株) ACM 技術部 航空・宇宙技術室長

京野 哲幸 氏

講演3 「昭和飛行機工業における航空機産業の位置づけ」

昭和飛行機工業(株) 事業企画室

野口 元 氏

⑤航空イノベーションセミナー（東大航空イノベーション研究会と共催） **（継3）**

日時：平成26年2月4日（火）13：25～17：20

場所：キャスルプラザ 3F 『孔雀の間』

参加者：90名

【内容】

講演1 「航空イノベーションに向けた取り組み」

東京大学総括プロジェクト機構「航空イノベーション」 総括寄付講座

特任准教授

飯塚 秋成 氏

講演2 「航空機産業のビジネスモデル」

株式会社三菱総合研究所 戦略コンサルティング本部

参与 チーフコンサルタント

奥田 章順 氏

講演3 「航空に関する技術研究開発」

住友精密工業株式会社 技師長

高橋 教雄 氏

講演4 「航空ネットワーク」

三菱商事株式会社 民間航空事業部長

宍戸 昌憲 氏

講演5 「航空分野の人材育成」

国立大学法人東京大学

大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授

李家 賢一 氏

○パネルディスカッションと全体討論

モデレーター：東京大学 教授

鈴木 真二 氏

パネラー：講演者

⑥超小型衛星関連ニュービジネスセミナー **（継3）**

日時：平成26年3月7日（金）13：30～17：15

場所：ダイテックサカエ 5F マノアホール

参加者：80名

【内容】

講演1 「超小型衛星における国際動向」

シー・エス・ピー・ジャパン 航空宇宙政策・産業グループ 金岡 光晃 氏
講演2 「気象情報ビジネスに於ける超小型衛星の可能性」

ウェザーニューズ 取締役 山本 雅也 氏

講演3 「地理空間情報の活用と準天頂衛星への期待」

アイサンテクノロジー(株) 研究開発知財本部長 細井 幹広 氏

○パネルディスカッション

テーマ：「超小型衛星ネットワーク時代の宇宙ビジネス」

コーディネータ：東京大学教授 中須賀 真一 氏

パネラー：講演者及び名古屋大学教授 田島 宏康 氏

(2) プロジェクトマネジメント事業

1) 第4回技術融合・異分野参入促進個別相談会 (継5)

他産業からの技術融合・異分野参入を図るため、22年度(名古屋市)、23年度(富山県高岡市)、24年度(三重県四日市市)に引き続き、航空機の装備品メーカー3社(KYB、シンフォニアテクノロジー、多摩川精機)による逆見本市形式の個別相談会を名古屋市にて開催した。

日時：平成26年1月30・31日(木・金) 10:00~17:00

場所：AP名古屋・名駅

個別相談件数/申込件数：KYB 7件/25件、シンフォニアテクノロジー 15件/22件、多摩川精機 9件/9件

2) 「グレーターナゴヤ航空産業関連セミナーin岐阜」 (継5)

日時：平成25年12月4日(水) 14:00~17:00

場所：じゅうろくプラザ 5F 大会議室

参加者：193名

【内容】

- ・「エアバスのサプライチェーンと航空宇宙産業クラスター」

エアバス社 北東アジア国際協力担当責任者

ストラテジー&次世代航空機プログラム部門 ルイス・ノブレ 氏

- ・「顧客価値のための技術活用」

プラット&ホイットニー社 バイスプレジデント

次世代製品-MRJ・C-シリーズ・エンブラエル プログラム

アンドリュウ タナー氏

- ・「中小企業による航空機部品の一貫生産に向けた体制整備(構想)」

川協一貫生産推進チーム サブリーダー

中村 勇 氏

5. 総合特区推進費補助金

(定款：第4条第1項第1・5号)

(事業名：国際戦略総合特区次世代航空宇宙産業強化事業) (経産省、3,268万円)

(1) 地域新産業集積体制整備事業 (継1)

1) 航空機産業先進地域調査

本調査は、国際戦略総合特区特別区域計画に基づき、中長期的に確実な拡大が見込まれる航空機産業において、欧米先進地域と肩を並べる一大集積地を当地に形成するため、先進的海外クラスターにおける当該産業及び同産業に対する支援機能（研究開発設備、人材育成機関及び中小サプライヤー支援機能等）の調査・分析を行った。

調査は外部委託調査方式とし、HPによる委託先の公募を行い、三菱UFJリサーチ&コンサルティングを委託先とした。

2) 大型風洞等の仕様調査

・大型風洞施設仕様検討委員会 (継1)

24年度の大型風洞施設整備検討WGの議論とその結論を受け、次世代航空機の開発に要求される我が国にとって最も必要とされる大型風洞施設（高レイノルズ数低騒音風洞）の検討を行い、最終仕様書（高レイノルズ数低騒音風洞技術仕様書）を策定した。東大 李家先生を委員長に1回開催（10月15日）。

策定された最終仕様書に基づき、「大型風洞等の仕様調査」に係る請負公募を実施したが、応札者がなかったため概念検討作業に基づく基本図面、建設費用概算見積等を作成することができなかった。計画変更を実施（12月27日承認）。

3) 専門家の配置（3名） (継1)

(2) プロジェクトマネジメント事業

1) シンガポール・エアショー2014への出展支援 (継5)

◇出展参加企業の募集（平成25年9月募集開始）

◇出展参加企業説明会（説明会2回、関連セミナー1回）

・説明会：第1回平成25年10月17日（木）名古屋商工会議所（33名）

第2回平成25年12月18日（水）新東通信 会議ホール（37名）

（関連セミナーを同時実施）

◇開催期間：2014年2月11日（火）～2月16日（日）

トレード期間：2月11日（火）～2月14日（金）4日間（支援対象期間）

*パブリック期間：2月15日（土）・16日（日）（自由参加）

◇会場：チャンギ国際空港 国際展示場（ブースNo. E-93）

◇ブース名：SP-JAIF（ブース設営・管理：新東通信）

◇参加企業：展示出展企業 4社・カタログ出展企業 2社

2) コーディネータの配置 (継5)

◇シンガポールエアショー向けに、3名（平成25年9月～平成26年3月）

- ・渡邊 美穂 (平成25年9月～平成26年3月) (主催者対応・出展企業支援)
- ・杉山 哲重 (平成25年11月～平成26年3月) (出展企業支援)
- ・鬼頭 誠 (平成25年11月～平成26年3月) (出展企業支援)

6. 中小企業・小規模事業者ビジネス創出等支援事業 (定款：第4条第1項第3号) (継4)

中部経済産業局中小企業課 専門家派遣事業(ミラサポ)において、当センターを代表機関、会員金融機関6行を構成機関とする「中部航空宇宙産業支援プラットフォーム」を登録。また、航空宇宙関連の専門家12名を登録。中小企業からの相談事務に対応。

対応件数：8社12件

7. 航空宇宙シンポジウム2013の開催 (定款：第4条第1項第5号) (継4)

(事業予算230万円)

愛知県、名古屋市、あいち産業振興機構、名古屋産業振興公社、G-ASTECの5団体による実行委員会組織が主催。25年度は、名古屋国際見本市委員会主催のTECH Biz EXPO 2013との併催事業として国際展示場(ポートメッセなごや)で開催した。

10月9日～11日 TECH Biz EXPO 2013 開催会場内で実施(ポートメッセなごや)

入場者数 19,885名(名古屋国際見本市委員会発表)

○講演会(IHI・MHI・和田製作所・名古屋大学の4題)

○展示出展企業 38社・団体(ポートメッセなごや第1展示館)

○商・相談会件数 55件(発注企業：9社、受注企業：27社)

①講演会(4テーマ)[10月9日(水)聴講者：229名]

【航空エンジンにおける材料及び技術開発の動向】

(株)IHI 航空宇宙事業本部技術開発センター エンジン技術部長 今成 邦之 氏

【航空機部品製造の将来】

(株)和田製作所 代表取締役 和田 典之 氏

【航空機開発と人材育成】

名古屋大学 航空宇宙工学専攻 航空宇宙教育プログラム

特任准教授 林 賢吾 氏

【航空宇宙産業におけるクラスター化の必要性】

三菱重工業(株)交通・輸送ドメイン 航空宇宙生産統括副室長 岡部 和久 氏

② 展示出展 38社・団体(ポートメッセなごや第1展示館)

本年度も、4重工を中心に航空宇宙関連企業及び、中核・中小企業を含む関連企業・団体で、カテゴリー別にゾーニングした展示配置を実施。

*日頃顔を合わせない企業間での情報収集とクラスター化を意識させる目的。

また、異業種の方へは、航空業界を取り巻く周辺産業も紹介。

*また、本年度は、平成25年度総合特区推進費補助金(国際戦略総合特区次世代航空宇宙産業強化事業)の案内と各行政機関の支援事業を紹介。

③商・相談会(10月9日(水)・10日(木)の2日間)

- ・発注企業：9社（MHI・KHI・FHI・IHI・旭金属工業・多摩川精機・東レ・和田製作所・住友商事）
- ・受注企業：27社
- ・商・相談件数：55件

8. 航空宇宙産業市内企業調査委託事業

（定款：第4条第1項第5号）（継3）

（名古屋市委託事業 29.5万円）

本事業は、24年度実施の106社から再度、名古屋市内に本社・支社・事業所・工場を有する航空宇宙関連産業の中小企業を中心とする145社に拡大（一部調査項目を追加）し、基本企業調査及び認証の有無及び過去5年間と今後5年間での設備投資計画の有無などデータ収集とまとめ作業。（名古屋市から平成26年度中小企業補助金支援項目のひとつの目安作りの調査・報告書作成）

9. 各種イベント協力・研究支援等

（定款：第4条第1項第5号）

- ①第29回 ISTS 開催支援実行委員会事務局 （継5）
愛知県・名古屋市出資負担金の管理（委託業者選定の窓口）

- ②YAC各務原 水ロケットまつり2013 協賛 （継4）
9月22日（日）、かかみがはら航空宇宙科学博物館

- ③東京国際航空宇宙展 ASET 2014 へ出展 （継5）
開催期間：平成25年10月2日（水）～4日（金）
会場：東京ビックサイト
目的：国際航空戦略特区事業のPR
センターPR・会員募集

- ④全国地域産業振興展（愛知・名古屋産業展） （継5）
開催期間：平成25年10月30日（水）～11月1日（金）
会場：東京ビックサイト
目的：国際航空戦略特区事業のPR
センターPR・会員募集

10. 人材養成講座

（定款：第4条第1項第4号）（継4）

（C-ASTEC 自主事業 50万円）

当センター自主事業として「アジア No1. 航空宇宙産業クラスター形成特区人材養成講座“航空機技術－設計現場からのレッスン”」を実施した。

4月から7月にかけて5コース12日間開催

3日間集中コース 4月23、24、25日 7名

構造	5月11、18、25日	8名
飛行特性	6月8、15日	9名
装備	6月22、29、7月6日	14名
材料	7月13日	9名

1.1. 損害保険代理店業務

(定款：第4条第1項第7号)

損害保険契約 10件 契約保険料：213,254円 受取手数料：32,695円

1.2. 総会・理事会の開催

(1) 第1回定時総会

開催日・場所：平成25年6月24日(月) 名古屋栄ビルディング12階 特別会議室

報告事項：

- ① 平成24年度事業報告書について
- ② 平成25年度事業計画及び収支予算について
- ③ 公益目的財産額の確定について

議案：

- 第1号議案 平成24年度計算書類等の件
 第2号議案 役員(理事)交替の件
 第3号議案 役員報酬規程の一部改正の件

総会記念講演会 「JAXA 航空の新たな取り組み」

講師：宇宙航空研究開発機構(JAXA)

執行役(兼)航空プログラムディレクター 岩宮 敏幸 氏

交流会：参加者 77名

(継2)

(2) 第1回理事会

開催日・場所：平成25年5月30日(木) 名古屋栄ビルディング12階 特別会議室

議案：

- 第1号議案 平成24年度事業報告書及び決算報告書について
 第2号議案 平成25年度事業計画書(変更)及び収支予算書(変更)について
 第3号議案 役員(理事)の交替について
 第4号議案 役員の報酬等に関する規程の一部改正について
 第5号議案 総会における書面議決について
 第6号議案 入会会員の承認について
 第7号議案 公益目的財産額の確定について
 第8号議案 顧問及び参与の委嘱について

(3) 第1回臨時理事会(書面決議)

開催日：平成25年6月24日（月）

議案：

議案1 副会長の選定について

議案2 入会会員の承認について

(4) 第2回臨時理事会（書面決議）

開催日：平成25年6月24日（月）

議案：

議案1 平成25年度収支予算書（変更）（案）の承認に関する件」

(5) 第2回理事会

開催日・場所：平成26年3月13日（木） 名古屋栄ビルディング 10階
中部経済連合会 会議室

報告事項：

① 役員（理事・監事）の辞任について（報告）

② 平成25年度事業報告について（報告）

議案：

第1号議案 平成26年度事業計画書及び収支予算書の件

第2号議案 入会会員の承認の件

1.3. 常設委員会等の開催

(1) 第1回運営協議会

開催日・場所：平成26年2月18日（火） 名古屋商工会議所 3階 第1会議室

議案：

1) 平成25年度事業実施報告について

2) 平成26年度事業計画について

(2) 定例運営事務局会議

産業界代表（三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、AETアビエーション(株)）から航空宇宙産業振興に必要な課題の提案、センター運営についての助言などをしていただき、事業に取り込むべき課題など及びその進め方について相互に議論をする場。必要に応じて、中部経済産業局、愛知県、名古屋市等にも出席を要請。

1.4. 庶務事項

(1) 登記事項

平成25年4月 一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター 登記

(2) 届出事項

平成 25 年 6 月 内閣府へ「公益目的財産額の確定に関する必要書類」を提出（電子申請）。

平成 25 年 6 月 文部科学大臣及び経済産業大臣に対し、平成 24 年度事業報告書及び決算報告書を提出。

15. その他

(1) 外部委員会等への参加

- ・ぎふ技術革新プログラム推進地域「国際動向調査ユニット」メンバー
- ・平成 25 年度戦略的基盤技術高度化支援事業「植生等地上観察用垂直離着陸型小型無人飛行システムの簡易操作ソフトウェア開発」研究開発委員会委員

(2) 航空宇宙産業等に関する情報発信

(継 3)

- | | |
|--------------------------|------|
| ① C-A S T E C メールマガジンの発行 | 54 件 |
| ② 最新情報の提供（ホームページ） | 60 件 |

(2) 出版物

- ① 平成 25 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金「次世代航空宇宙関連産業国際競争力強化支援事業」活動報告（平成 26 年 3 月）
- ② 平成 25 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金「平成 25 年度航空機関連技術動向調査報告書」（平成 26 年 3 月）
- ③ 平成 25 年度総合特区推進費補助金「国際戦略総合特区次世代航空宇宙産業強化事業」地域新産業集積体制整備事業 活動報告（平成 26 年 3 月）
- ④ 平成 25 年度総合特区推進費補助金「国際戦略総合特区次世代航空宇宙産業強化事業」平成 25 年度航空機産業先進地域調査報告書（平成 26 年 3 月）
- ⑤ 平成 25 年度総合特区推進費補助金「国際戦略総合特区次世代航空宇宙産業強化事業」プロジェクトマネジメント事業「シンガポールエアショー 2014」出展支援報告書（平成 26 年 3 月）